

# リナシテイの歩みとともに川清掃

## 水神さあ川づくり隊で快汗

11月は12日午前6時半から



リナシテイ下流を清掃

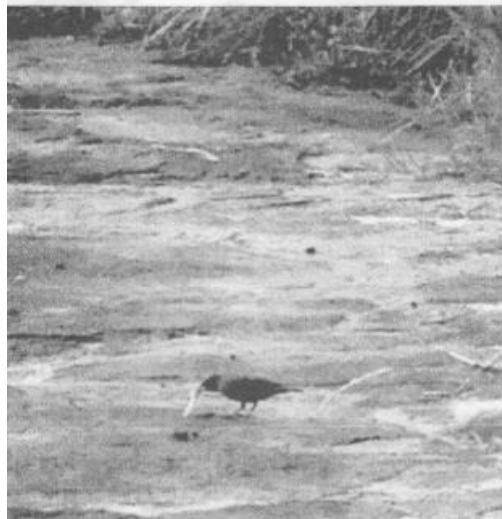
水神さあ川づくり隊の肝属川清掃が8日早朝、リナシテイかのや南側のまちなかバー

ク横の河川遊歩道や歩道の除草などで実施された。この川づくり作業は、リナ



東洋食品スタッフら早朝から汗流す

シテイかのやがオープンし、水辺のステージがあり、建物中心にあるガレリアには城山からの湧水が通り、肝属川へ流されて川を中心とした施設になり、毎月たき火ライブやマルクトなども行われていることから、その川をきれいにしたい、子供たちが安心して遊べる川を取り戻しましょう！と地域の有志が声を掛け平成19年にスタート。



イソヒヨドリもお手伝い…?

こともあって水神さあ川づくり隊と命名。当初は、12月12日に水神様が設置されたこともあって毎月12日に行っていたが、川沿いのかのやイベント広場で土曜朝市が毎週行われていることもあって、第2土曜日に開催することになった。

この日は、リナシテイ周辺、肝属川沿線に住む住民や鹿屋市職員、鹿屋市南部給食センターの調理配送等業務委託業者である東洋食品スタッフらのボランティアが集まり清掃。特に東洋食品スタッフ

は、鹿屋市が地域のボランティア活動に参加することが一つの条件として業務委託契約をしており、毎月10数人が参加し汗を流し、カマや熊手などを手にゴミ袋が次々に満杯になった。作業中には、イソヒヨドリが近寄り、作業を手伝いしてくれるのかバツタを捕まえる光景も見られ、作業をしていた日本野鳥の会大隅支部の坂田勝さんも写真をパチリ。この日はライオンズクラブのメンバーも奉仕作業でリナシテイ周辺の清掃を行っており、周辺がきれいになった。

2016年10月8日  
南九州新聞